

2019 年 10 月 4 日 ~ 2020 年 3 月 12 日の間に 当科において前立腺 MRI 検査を受けられた方及びご家族の方へ

— 「前立腺 MRI における圧縮 SENSE 併用 3D-TSE T2 強調像の臨床に与える影響」へのご協力
のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学放射線診断学	講師	木戸 歩
研究分担者	川崎医科大学放射線診断学	教授	玉田 勉
	川崎医科大学放射線診断学	准教授	山本 亮
	川崎医科大学放射線診断学	講師	神吉昭彦
	川崎医科大学放射線診断学	大学院生	前場淑香
	川崎医科大学放射線診断学	臨床助教	児島優一
	川崎医科大学放射線診断学	臨床助教	小野健太郎

1 . 研究の概要

前立腺癌が疑われた患者さんには前立腺 MRI を撮像し、その可能性を評価します。そして、MRI の撮像法である T2 強調像や拡散強調像 (DWI)、ダイナミック造影といった複数の撮像法を組み合わせたものをマルチパラメトリック MRI と言い、前立腺癌の検出に欠かせない診断ツールとなっています。その中の T2 強調像は前立腺の構造を把握するために有用とされています。

3 次元で取得する T2 強調像は 2 次元で所得する画像よりも情報量が多く、細い構造まで把握が可能となります。しかしながら、3 次元での情報取得は時間が掛かります。そこで、圧縮 SENSE といった情報取得時間を短縮する技術を加えることで、3 次元撮像での欠点を補うことが可能となります。そこで、本研究では 3 次元で取得する T2 強調像とこれに圧縮 SENSE を併用した T2 強調像を撮像し、両者の画質の違いや前立腺癌を見つける能力 (検出能) を評価します。

本研究によって、前立腺癌の診断能の向上に寄与することが期待されています。

2 . 研究の方法

1) 研究対象者

2019 年 10 月 4 日 ~ 2020 年 3 月 12 日の間に前立腺癌が疑われ、前立腺 MRI が施行された方、またその後、前立腺生検または前立腺全摘術が施行された方、併せて約 120 名の患者さんを研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日 ~ 2024 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において前立腺 MRI をうけた方、またその後、前立腺生検または前立腺全摘術が施行された方を対象として、研究者が診療情報をもとに前立腺癌の有無を調べます。そして、放射線科医師によって 3 次元で取得する T2 強調像とこれに圧縮 SENSE を併用した T2 強調像の画質や前立腺癌を見つける能力（検出能）を評価します。

4) 使用する情報の種類

MRI 画像、生年月日、性別、病理組織所見など

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学放射線診断学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024 年 1 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学附属病院 放射線科（画像診断）

氏名：木戸 歩

電話：086-462-1111 内線 25502（平日：9 時 00 分～16 時 30 分）

ファックス：086-464-1123

E-mail：roentgen@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。